



渡辺 芳勝
(市民の声)

米の生産数量配分の見通しは

質 秋田県の作況は105であり、県への生産調整面積の配分が全国他都道府県に比べ厳しい配分となっているが、市への配分はどうか。その内容についてどう考えるか。

答 県の21年産米生産目標数量は前年比7650トン減の46万7160トンである。本市への配分量はまだ示されていないが、非常に厳しい状況が予想される。あきたこまち偏重で県産米の需要量減が理由ではないかと分析している。今後とも県・JA等と協力し、安定した農業経営を支援していきたい。

学校給食の民間委託

質 学校給食の調理・運搬部門の民間委託について、なぜ必要なのか。現在従事しているパートタイマーの方々の雇用はどのようになるのか。

答 これまで行財政改革大綱の実施項目にある事務事業の見直しを行い、その可能性について検討した結果、効果的・効率的でコスト縮減に資すると判断したものについて民間委託を行うものである。現在働いている方の雇用については、民間委託の前提となる条件として、現人員の雇用の継続を考えている。

その他の質問事項

- ・能代市老人クラブ連合会の現状
- ・木材産業の現状とバイオ関連事業



菅原 隆文
(よねしろ会)

二ツ井地区の振興策

質 中心市街地活性化推進協議会が立ち上がり活発な議論を呼んでいる。二ツ井地区におけるゼオライトの振興策、きみまち阪の観光と温泉や宿泊の問題、商業地の活性化策は何か。

答 ゼオライトの研究は高度な専門性を要するため、産学連携機関等の情報収集に努め、市内企業と連携を図っていく。きみまち阪は観光素材の核の一つと考え、新体験メニューの開発も検討したい。温泉や宿泊施設は、長期的に多額の費用負担が見込まれ、取り組みは難しい。商店街の路側帯カラー化事業の提案は、現在、庁内で検討している。

鳥取方式で芝生グラウンドの検討を

質 ポット苗で芝を植え、水と肥料と芝刈りの手入で、低コストで芝生のグラウンドができる鳥取方式。5年間で全国100カ所以上の実績。建設中の小学校などに取り入れたらどうか。

答 鳥取方式の芝生はバミューダグラスを移植し、散水、芝刈り、肥料散布を繰り返す。約3カ月後には芝生化するもので、芝生の維持管理には労力と費用を必要とするなどの課題が多く、学校での実施には難しいものがあるが、この方式の特長を生かした教育現場での活用の方法について検討したい。

その他の質問事項

- ・組織機構の見直しと地域局の関連は
- ・富根診療所の存続
- ・二ツ井公民館講堂の設備更新



今野 清孝
(市民の声)

新市一体感の醸成

質 一国二制度は好ましくない。合併協定で調整事項とされたもので未調整なものは。また、建設工事・物品購入等の入札についての調整はどうなっているのか。

答 35の合併協定項目のうち未調整なものは12項目で、一体感の醸成のためにも、できるだけ早い時期に方向づけができるよう検討したい。入札は合併後3年程度は地域割を設けることとしていたが、21年度は概ね現行どおりとし、22年度からは両地域の制度を統一した上で、基本的には地域割を廃止する方向で検討している。

汚染土壌の能代港での取り扱い

質 フレコンバックによらないとすれば、具体的にどのような荷の形態をとろうとしているのか。公害防止対策及び住民理解について、今後どのように取り組むのか。

答 一時保管施設の設置を契機に、バラ荷の取り扱いも可能であると判断、施設活用とあわせ荷主と協議している。バラ荷の安全な取り扱いには、他港でも徹底されている。施設建設に際しても、安全性の確保や環境保全に万全を期したい。今後、荷主との協議の進捗状況により、取扱方法などを市民に情報提供し理解を得たい。

その他の質問事項

- ・財政の健全化と弾力性の確保
- ・PFIの導入
- ・(仮称)イオン新能代ショッピングセンター